

NICE SMILE

りんくう総合医療センター 市立泉佐野病院 ● 院内広報

2008
秋
VOL.50

発行・責任者：広報誌編集委員会委員長 永井 義幸 / 〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地23 TEL072-469-3111 (代) FAX072-469-7929
<http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/>



りんくう総合医療センター 外観

周産期センターについて



周産期センター・新生児医療センター長兼小児科部長 住田 裕

皆様すでにご存知のとおり、市立泉佐野病院に泉州広域母子医療センターが設立されました。市立泉佐野病院、市立貝塚病院の産婦人科が統合・集約化された結果できたセンターで、周産期センター(市立泉佐野病院)と婦人科医療センター(市立貝塚病院)とで構成し、原則それぞれの分野別の手術・入院を行う一方、外来診療は両センターで産婦人科全体を行うようになっています。その運営に関しては、行政(府・近隣市町)、医師(医師会・産婦人科医会)、大学、保健所、病院関係者で組織する協議会が設けられ、近隣自治体からの財政支援によって、継続的・安定的な運営を目指しています。センターの設立背景には、新医師臨床研修制度の影響を受け公的病院における産婦人科を含む全国的な医師不足の中、大阪大学も両院の産婦人科に医師を供給することが不可能となってきたこと、産婦人科医を継続的に供給していくには、産婦人科医の勤務環境及び待遇の改善が必要であること、地域

の安心安全な分娩を確保するため、集約化に加えて重点化を図る必要があること、などがあげられます。産科医師の体制は、両院併せて12人(センター長含む)で、従来のそれぞれの病院での1人当直を周産期センターでの2人当直体制とし、ハイリスク妊婦・分娩、産褥合併症などに対して24時間緊急対応が可能となりました。新生児医療部門は、NICU6床、GCU6床(将来的に12床)に増床し、NICUのより有効的活用を図ることが可能になりました。過去それぞれの施設での分娩数は、ともに年間750分娩前後でしたので、周産期センターでの分娩数は、それらの合計数より少ない年間1,200分娩(月100分娩)前後であろうと予測されていましたが、4月以降の実績からみてそれに近い数字となっています。大阪府南部の周産期センターとして、母児同室・母乳育児の推進、人的確保など課題はまだ残っていますが、これからも皆様方の厚い応援をお願い申し上げます。

CONTENTS

表紙写真:「りんくう総合医療センター 外観」	1
住田 裕「周産期センターについて」	
ごあいさつ 川西 史子 / 森下 博一	2
ごあいさつ 渡邊 久代 / 鈴木 千晶	3

りんくうクリスマスコンサート	4
駐車場のご案内	
編集後記/お知らせ/人権標語	



周産期センターを開設して

6階山病棟看護師長 渡邊 久代

当センターは地域周産期センターとして泉州地域の正常分娩の受け入れ、産婦人科二次救急受け入れ、OGCSシステムよりの搬送受け入れなどを目的として活動しています。

病棟は入院ベッド数40床(個室3床、特室1床)で分娩ベッド2床、LDR2床、陣痛ベッド3床、新生児室という環境です。分娩件数は今年度月平均92件、昨年度は1年間での総数682件でしたが今年度は6ヶ月で550件(約、5倍)と増加しています。

OGCS、救急搬送数は今年度、月平均10例、9月には1ヶ月で16件と急増しています。分娩の中では帝王切開が20%を占め、搬送では緊急性の高い常位胎盤早期剥離や出血、切迫早産や多胎などハイリスク症例が増えています。また、救急車で来院する未管理分娩も増加傾向にあります。

このような環境の中、周産期センターとして知識、技術の向上を図り実践力の高いチーム作りと安心安全な病棟作りに重点を置いた体制作りを行っています。

現在の社会が抱えている問題としては、親の未熟性、父の非協力、家庭内不和、経済的困窮、本人や家族の病気、望まない妊娠、子供の病気、相談相手がいないなどさまざままで当院で分娩される方たちもこのようなケースが

多い傾向にあります。私たちは周産期に関わる看護スタッフとしてこれらの問題点にも着目し子育て支援、虐待予防に努める活動を行う必要があり出産後早期から母乳育児と十分な抱っこによる愛着形成の促進を図る効果を期待し母児同室の導入に取り組んでいます。また退院後の生活を考えた指導、当院のケースワーカーを交えた医療相談やケースカンファレンス等の企画や助産師外来受診を促すこと、地域の保健センターとの連携を密にするなどネットワークの強化に努め、常に患者、家族に視点を置いた看護を提供したいと考えています。



●リニアック



●婦人科手術風景



●NICU・GCU

昨年度より会議を積み重ね部屋の拡張工事を行い、この8月から周産期センターがOPENしました。今までNICU/GCUは、6階海側病棟の小児科の一部でしたが4月より6階病棟より独立し周産期センター新生児集中治療室のさらなる役割を担うため、一看護単位に部署が立ち上がりました。そのため、NICUの病床数は今までと同様6床ですが、GCUが4床から12床に増床しました。

近年産科・小児科医療を取り巻く環境は非常に厳しい状況ですが、私達のNICUも開院当初より精一杯の役割を務めてきました。どんな児でも助けていこうというスタンスで治療が進むにつれ、成人とは違い、生まれてずっと呼吸器が外れない児・児の状況は良くても親の育児能力を含め児を取り巻く環境が整わず、生まれて何年もずっとNICUに入院せざるを得ない場合があります。そういう児がNICUで入院を続けることにより、新たに入院しなければならない児がベッド満床で入院できない状況が生まれてきます。そのような状況を少しでも改善させNICUへの児の受け入れをスムーズにするため今回

周産期センターについて

NICU/GCU師長 鈴木 千晶

GCU(Growing Care Unit)を拡張し長期で見ていく児もゆっくりと児や家族に合わせて看護ができるよう環境を整えました。狭さは変わりませんが、今まで以上に母乳育児の推進・カンガルーケアを含むディベロップメンタルケアに力を入れていくようにしています。

命は助かったけれど家に帰るのが難しい児達が療養できる施設がもっと大阪府にあれば私達のような公立病院のNICUの役割がもっと有効になるのではないかと日々考えながら・・・、この地域での周産期医療の充実のためにチームで「お母さんのおなかの中のような環境作り」をテーマに再スタートしたばかりの新たなNICU/GCUをこれから作って行きたいと思います。



●LDR室

感染対策について

感染症センター 川西 史子

当院での感染対策は組織的には、院内感染対策委員会とICT(インフェクション・コントロール・チーム)、院内感染予防ワーキンググループの3つからなります。ICTでは感染予防教育、感染予防に関するマニュアル作成、医療器材の検討、職業感染防止対策(針刺しやワクチン接種等)について協議をしています。感染予防ワーキンググループは各部署より選出された委員(リンクナース、リンクドクター)が、教育やサーベイランス等のグループに分かれ、ICTでの協議内容に沿った実践活動を行っています。特に今年は「手洗い」の充実を図るため、部署毎でミニ勉強会の開催や蛍光塗料を使用した手洗い実践を行い、マニュアルの検討や整備を進めています。また、ICTでは5月より、「感染ラウンド」を開始しました。まだ始まったばかりではありますが、耐性菌等発生時調査や点滴作り置きに関する調査などを行っています。

近年、医療施設において感染防止に関しては、付加するものではな

く基礎的なものとして捉えられています。つまり「やっけていて当たり前」であり、その範囲は在宅も含め拡大傾向にあります。特に当院はりんくう総合医療センターとして特定感染症医療機関である「感染症センター」も併設しています。そのため、「新型インフルエンザ」をはじめ未知なる感染症に対しても常にアンテナを張っている必要があります。「新型インフルエンザ」に関してはWHOのパンデミックフェーズ3(ヒトからヒトへの感染は基本的にはない)ではありますが、いつどこでフェーズ4(ヒトからヒトへの感染が確認される)になるか世界中で懸念され対策が取られている状況です。基本的には適切な防護用具の着脱と手洗いが重要であると言われておりますので、日頃から適切に防護用具を使用・廃棄でき、手洗いができることが大切であると考えます。幸い、私たち医療従事者は日々訓練(防護用具の使用、手洗い)する機会に恵まれていますので、「芸は身を教う!？」になれば・・・と思っています。

診断群分類包括支払制度(DPC)について

診断群分類包括支払制度(以下、DPCとする。)は、平成15年4月の診療報酬改定(国・厚生労働省)により国の意向である医療費標準化に向けて、特定機能病院に急性期医療に係る支払制度として導入されました。DPCは、すでに平成15年以降、全国の大学病院をはじめ、急性期医療を主とした全国の医療機関(現在実施360病院、20年度より358病院が追加)で導入され、市立泉佐野病院も平成20年7月1日からDPC導入病院となり、同日以降に入院された患者様より対象とさせていただきます(一部対象外あり(※1))。

このDPCは、入院医療に対する診療報酬の包括払い制度のことで、概要は入院期間中の治療で最も医療資源を費やした1つ

の傷病名(※2)に対し、手術・処置、副傷病名(合併症)などの条件を組み合わせで診断群(約1580分類)を決定します。そして、診断群分類ごとに定められている1日あたりの定額の医療費(※3)と入院日数、それに病院ごとに決められた医療機関別係数(※4)を掛けて、包括的に入院医療費を計算する制度です。

定額医療費に包括される内容は、入院基本料や検査、投薬、注射、処置、画像診断などです。この定額医療費については包括となる診療行為の有無に関わらず、その診断群に対する評価となっています。その他の指導料、手術(麻酔、輸血を含む)・専門的技術料(内視鏡、リハビリなど)などは、従来の診療行為ごとに加算して計算する出来高となります(※5)。

※1: DPC対象外となる患者様は、傷病名が診断群分類のいずれにも該当しない場合や正常分娩、労災、自賠責、歯科、入院後24時間以内の死亡、生後7日以内の死亡などの場合です。

※2: 医療資源を費やした傷病名は、入院患者様の入院期間全体を通して、治療した傷病のうち、最も人的・物的医療資源を投入した傷病名のことです。1回の入院中に複数の傷病に対して治療が行われた場合でも、「医療資源を最も投入した傷病名」は1つに限定します。

※3: 定額医療費は診断群分類毎に、入院日からの日数に応じて3段階に区分されます。

※4: 医療機関別係数は入院基本料等加算などの届出項目を係数化した「評価係数」と医療機関ごとに別に厚生労働大臣が定めた「調整係数」を合算した数値です。

※5: 出来高方式とDPC方式

※6: 出来高となる診療内容は、初診料、入院基本料加算の一部、特定入院料の一部(加算扱い)、在宅指導料、指導用薬剤・材料、在宅医療、診療情報提供(紹介状)、心臓カテーテル、内視鏡、診断穿刺、検体採取、病理診断、病理学的検査診断、選択的動脈造影カテーテル手術、画像診断管理加算、退院時処方、リハビリ、精神科専門療法、1,000点(10,000円)以上の処置、手術・輸血・麻酔の手術・薬剤・材料、食事療法です。

従来の計算(出来高方式)

- 薬(投薬・注射)
- レントゲン
- 検査料
- 入院基本料など
- 手術料など

診療内容をひとつひとつ積み上げて計算する方法です。

➡

新しい計算(包括評価(DPC)方式)

- 薬(投薬・注射)
- レントゲン
- 検査料
- 入院基本料など
- 手術料など

包括評価
出来高評価(※6)
1日あたりとして包括金額が設定されています。

DPC対象患者様の入院費用は、退院患者様についてはその都度精算し、翌月にわたり継続入院される患者様については、その時点でのDPCによる計算を行い、毎月月末に精算します。なお、病状の経過、診療内容の変更などにより、前月に決定した「診断群分類」が変更になった時には、入院日によって再計算し、次回請求時(基本的には退院時)に診療費の調整(再計算)をいたします。

持参薬管理について

薬剤科部長 森下 博一



入院時に患者さんが持参した薬(持参薬)が原因となった医療事故がマスコミなどで取り上げられ、全国的に持参薬への関心が高まり、持参薬の内容を調査、把握することが重要視されています。当薬剤科では、本年4月1日より入院時全ての患者さんの持参薬の鑑別を実施しています。持参薬鑑別の流れは次の通りです。まず、入院が決まった患者さんには、

- ① 入院手続きの書類と一緒に「お薬についてのお願い」の説明書兼アンケート用紙を渡します。
- ② 入院時、「お薬についてのお願い」のアンケート用紙と現在服用しているお薬全て、又「お薬手帳」及び「お薬説明書」がありましたら持参して頂きます。
- ③ 入院当日、入院の手続きが終わり次第、持参薬のある患者さんには院外処方箋お渡し窓口横の持参薬鑑別コーナーへ立ち寄って頂きます。
- ④ 持参薬鑑別コーナーでは、薬剤師が患者さんと面談して服薬状況や服用歴などを確認し、持参薬をお預かり致します。
- ⑤ 患者さんは入院受付に戻り、その後入院される病棟へ案内致します。
- ⑥ 患者さんの持参薬を鑑別し、報告書と共にお預かりしたお薬を病棟へ送ります。
- ⑦ お持ち頂いたお薬は状況に応じ、主治医の判断により使用します。

入院後の治療等が円滑に行われるよう持参薬の管理を行っていますので、ご協力よろしくお願い致します。

The 10th Anniversary Rinku Christmas Concert

第10回記念 りんくう クリスマスコンサート

～ あたたかな ともしびを ともし続けて～

日時 2008年12月20日(土) 2:00pm～
場所 りんくう総合医療センター(市立泉佐野病院)2階 エントランスホール

プログラム

- 鷺見 五郎：日の丸変奏曲(子供たちによる合奏)
ヘンデル：涙の流れるままに
黒人賛歌：アメージング グレイス
モーツァルト：トルコ行進曲
アルベニス：タンゴ
マ ス ネ：タイスの瞑想曲
ヴィヴァルディ：4つのヴァイオリンのための協奏曲口短調 第1楽章
ヴィヴァルディ：四季より「冬」 第2楽章
岡野 貞一：ふるさと
クリスマス メドレー

出演者

- ヴァイオリン：野崎 裕香子/濱本 実加/福永 麻美
ピ ア ノ：佐藤 美秋/久岡 由紀子
日の丸変奏曲(ヴァイオリン)
出演者：窪田 敏輝/窪田 隼人/土屋 聡美
中島 蒼涼/久岡 辰徳/増田 理子
ヴァイオリンと司会：久保 由佳子

駐車場のご案内

- 立体駐車場(715台) 24時間ご利用可能
● 地下駐車場(17台)
平日 午前7:30～午後8:30

地下駐車場は、土・日・祝日・年末年始などの休日はご利用できません。
地下駐車場は、障害者、車椅子利用者、75歳以上の高齢者の方のための駐車場です。
その他の方は、山側の立体駐車場を利用下さい。

注意

割引の手続は、2階総合案内・1階防災センターで行いますので、診療費の領収書と駐車券をお出ください。
駐車券がなければ割引の手続ができませんのでご注意ください。
駐車料金の割引を受けられる方は、必ず駐車券をお持ち下さい。
駐車券を紛失した場合で外来診療等の病院利用者の場合は、総務課(時間外受付)までお問い合わせください。

● 駐車場料金(一般利用)

Table with 3 columns: ① 外来診療等, ② 時間外救急, ③ 病院が許可した付き添い・病状説明手術待機・緊急入院その他認められた者, ④ 人間ドック利用者, ⑤ お見舞い客等一般利用, ⑥ 病院利用で身体障害者手帳、精神障害者手帳の交付を受けている者. Includes rates like 45分まで無料, 以降1時間毎100円, 24時間24時間300円, 無料, 45分無料がなくなりました, 無料.

編集後記

私がこの病院に就職したときは、現在のりんくうタウンではなく、南海の泉佐野駅より二十六号線方面に数分歩いたところにあるお世辞でもきれいなと言えない建物でした。現在では、りんくうタウンに移転し、高度医療を行う病院として生まれ変わりました。ずいぶん前から働かれている方、また新しく就職された方もいろいろな専門の資格等を取られてがんばっています。
また病棟の工事も終え、周産期センターが本格的に稼働しはじめ、たくさんの赤ちゃんが誕生されるようになりまし。今後も当院の良いところや、新しく開設されたセンター等の情報を市民の皆様にご紹介していきたいと思ひます。

編集委員
中央検査部 米本 隆浩

平成20年度 広報誌編集委員会委員

Table with 3 columns: 職名, 氏名. Rows include 1 委員長 副病院長 永井 義幸, 2 委員 検査科部長 今北 正美, 3 外科医長 山村 憲幸, 4 副看護部長 甲斐 美智子, 5 NICU/GCU看護部長 鈴木 千晶, 6 放射線科長 小西 康彦, 7 薬剤科次長 森朝 紀文, 8 検査科主任 米本 隆浩, 9 事務局 係員 鎌野 円



人権は みんなが持つもの 守るもの